



コロナ禍が収まり、久しぶりのご来店の方が増えています。

▷ 4年半ぶりにご来店頂いたAさん。8年前にお作りした足底板と靴で変形性膝関節症による膝痛がすっかり改善し喜んで頂きましたが、退職してほとんど歩かない生活になり、膝の痛みが再発、医師からは手術を勧められているとのこと。膝が揺れ不安定な歩き方になっておられるので、足首までホールドする底のしっかりしたブーツに、足底板を入れ替えて歩いて頂くと、歩行が見違えるように安定。入れる靴により足底板の効果が違うことを実感して下さいました。その時々足の状態にあった適切な靴で歩ける量を増やして頂くことで膝痛の緩和につながればと思っております。

▷ 靴をお作りしてから1年3ヶ月後に足のチェックと靴の調整に来て下さったBさん。扁平足で甲が薄く、どの靴を履いても趾先が痛くなると困っておられました。アーチをしっかり支えるこの靴を履くと、足首がぐらつかず歩きやすいとのこと。フットプリントを採り、初回と比べると土踏まずがよりくっきりとしてアーチの形成が歴然です。週3日くらいこの靴で歩いていますとのこと。歩く量を増やして頂ければ、次回はさらに良くなっているかもしれませんね。

足の状態も体のバランスも変わります。



歩く様子を拝見し、靴や足底板の調整をすることで、歩きやすくなり、転倒や怪我の予防にもつながります。特に問題を感じておられない方も、ぜひどうぞ。